

# みやけの風

## 第 56 号

平成13年(2001年)11月24日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmppo.org

「わりゃ、流れ星は見ただかよ」「東京じゃ見えねえと思って起きんかったっけが、それでもけっこう見えたっちな」「だから」「島にいりゃよく見えたずらにな」「それでも島の者はやっぱり寝てたっけじよ。お客らは騒いでたっけが」「島にいたときゃ、流れ星も当たり前だったからな」「日もつぼんで来て何だかさびしくなってきたが、まあ、元気出せや」「おうよ、だから」

### みんなの声

#### (1) 「三宅島ウォークinつくば」に行きます

「三宅島ウォーク」とは?!知っている島民の方も多いと思いますが、年1回東京の台東区を中心とした障害者やボランティアの人たちが来島し、三宅島の自然にふれながら歩くイベントで、なんと昨年は災害直前に第10回目を行なった記念の年だったのです。また、島の障害者団体である「がくあじさいの会」とは10年以上の交流があり、島からのボランティア参加も年々増えてきて、三宅島ではもうすでに定着しているイベントです。

そして今年、「三宅島ウォーク」の人たちは、三宅島へいけない寂しさを吹き飛ばそうと歩く場所を変更してのイベントを企画したのです。その名も「三宅島ウォークinつくば」。いったいどこをウォークするかわからない名前ですが、ちゃんと「三宅島」を残してくれていることはイベントを企画している方々の三宅島への思いが現

れていて、とてもうれしい事ですね。

さて、この「三宅島ウォークinつくば」への参加を「がくあじさい」の利用者に呼びかけたところ、その家族と三宅島社協職員の計8名が参加することになりました。全体で約80名のイベントということで、11月23日から25日の2泊3日、みんなで楽しい交流が出来ればと今から期待しています。

ちなみに6つのグループ分けがされていて、その名前はそれぞれ「おしどり」「きむら」「たなか」「千成荘」「椿荘」そして「ラッパ荘」、ここにも三宅島への思いが出ていますね・・・。

(三宅島社会福祉協議会 金長 雄二)

#### (2) 自然が育てた芸術のすばらしさ

みやけの風先週号に載っていた「柿澤磯雄と仲間たち三宅島チャリティー展」の案内を見て、行って来ました。

火山島ゆえに美しい景観ができて温泉が湧き、空と海のコントラスト、空気がおい

### 「東京モノモース」に三宅島島民、登場

東京都議会の提供番組、「東京モノモース」(旧都議会アワー)は、一般都民がスタジオから、東京に住んでいて日頃感じること・考えていること・・・「都政に対してこんな提案がある!」と具体的な内容を発表し、それについて都議会議員5人と一般都民20人が徹底討論する番組。全島避難から1年以上経ち、一時期ほど報道の頻度も減りししながら元の生活の戻れずにいるという厳しい現実を伝えるため、三宅の島民が出演する予定です。様々な方の見識や経験に基づいた意見を交えどのような討論が展開されるか、乞う御期待!

放送予定時間：2001年12月2日(日)20:00~21:00

放送局：東京メトロポリタンテレビジョン(東京MXTV)

しく、野鳥たちの声も澄みわたっています。朝日を浴び夕日を拝み、西風に吹かれながら、人々の暮らしはずんでいました。

島を追われて一年三ヶ月、効率優先の都会生活にも慣れたとはいえ、島恋しさに変わりはありません。ギャラリーに展示されている陶芸品、絵、木版画など、どれを見ても三宅島の情景が陳列されていました。三宅島の自然に魅了された芸術を志す人たちが、三宅島を作品化されたのです。自然のすばらしさとは、志を高め芸術家を育てる要因にもなるのですねえ。火山島の宿命を背負って、今日避難生活を余儀なくしていますが、私は会場で島の自然と人の御縁に感謝して、充分にいやされました。

25日までやっていますから、お出かけになりませんか。あなたの好きな三宅島に出会えますよ。(阿古 佐々木 美代子)

### 住民意見の組織化のための整理検討作業のお知らせ

前号でもお知らせいたしましたが、去る11月10日(土)(11月19日は間違い。お詫びして訂正します)、第17回島民連絡会会議が開かれました。今後についての自由討議では、様々な意見が交わされたあと、

「自分自身のため、家族のため、自分に続く人々のために出来ることをやろうという一人一人の覚悟にかかっているということなのではないか。そこから自律した復興が始まる。」との、センターの上原事務局長の発言を受け、司会からの「今回の島民連絡会会議の内容を整理して、検討する作業をしてくれる方は手を挙げてほしい。」

という声に呼応して、松岡靖恵(大田)・坂上由香(府中)・宮下加奈(江戸川)・宮下淑子(港)・津村明(港)・高松洋子(国立)(カッコ内は避難先で、各島民会の代表ではない)の6名の方々が名乗りを挙げました。

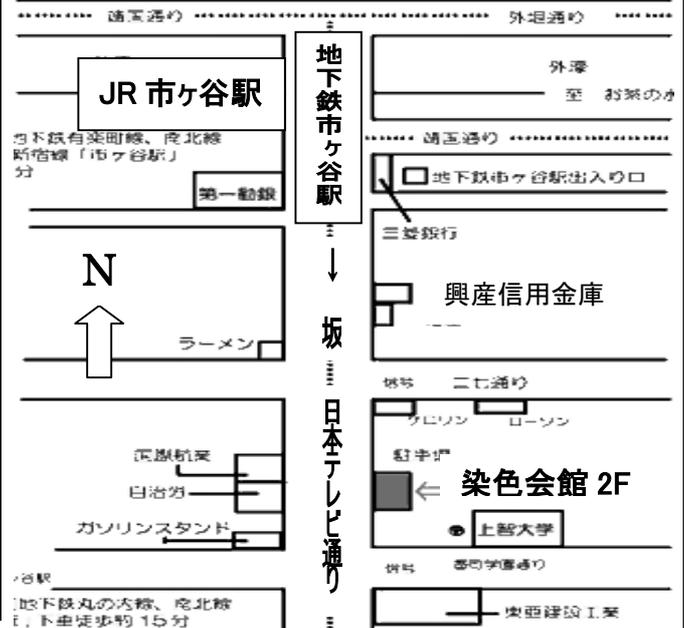
これまでの島民連絡会の歩みと役割を整理し、真の島民主体の復興に近づく道はなにかを検討するため、島民の方々による作業が、12月1日(土)に行なわれることになりました。後日、ぜひ一緒にやりたいという声も増え、ふれあい集会実行委員も交えて、現在10名程度の方が参加の予定。

第1回作業日は、下記のとおり。

日時: **12月1日(土)13:30~**

場所: 自治労会議室(市ヶ谷染色会館2F、JR・営団・都営地下鉄市ヶ谷駅徒歩5分)

仮お問合せ: 三宅島支援東京センター  
TEL: **03-3260-7573**



### ☆「特別養護老人ホームあじさいの里」のいきいき健康教室☆

たくさんの方のご参加で、皆で楽しくげんきになりましょう! 11月テーマ: 『風邪の予防』

日程	時間	場所	担当
11月26日(月)	14:00~15:30	練馬区役所	宮下・福本
11月27日(火)	14:00~15:30	葛飾区高砂団地自治会集会所	宮下・福本
11月29日(木)	14:00~15:30	東村山市富士見町NTT住宅集会所	肥後・福本
11月30日(金)	14:00~15:30	南大沢保健福祉センター	肥後・福本

お問合せ先: あじさいの里 TEL: **03-3459-8388**

☆日時や場所は変更することがありますので、事前に電話でご確認の上お出かけください☆